

みずだより



Twitter @fukuokashisuido

編集・発行◆福岡市水道局総務課 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目28番15号 電話092-483-3139 ファクス092-482-1376 <https://www.city.fukuoka.lg.jp/mizu/somu/> (年3回発行) 次回8月1日号



6月1日は「節水の日」 当たり前前の「今」を守るために

2度の大渇水を知っていますか？

福岡市は昭和53年と平成6年に、少雨の影響により給水制限が約300日にも及ぶ大渇水を経験しました。昭和53年の大渇水では6月1日から6月10日までの間、給水制限が一番厳しくなり、じゃ口からは1日5時間しか水が出ませんでした。この期間の初日である6月1日を「節水の日」と定め、毎年水のたいせつさを呼びかけています。



▲干上がった南畑ダム(昭和53年)



▲バケツに給水を受ける市民(昭和53年)

渇水をのり越えて生まれた— 節水シンボルマーク

昭和53年の大渇水は、“水のたいせつさ”を改めて感じる機会となりました。福岡市ではその経験を風化させないため、昭和54年に水の循環をデザインした「節水シンボルマーク」を制定しました。

山などに降った雨は川に流れ、毎日の暮らしに使われます。そして水は海に流れ、雲となり、また雨に戻ります。

このマークはこうした水の流れを示したもので、水を無駄なく使おうという意味が込められています。



福岡市の水源開発の一部を紹介するよ。貴重な水源をのぞいてみよう!

水道局マスコット
フクちゃん

～1級河川を持たない福岡市の19回にも及ぶ水源開発～

3分の1は筑後川から

大きな河川がないなど地理的に水資源に恵まれていない福岡市は、水道水に使用している水のおよそ3分の1を筑後川に頼っています。

また、福岡市が取水する9つのダムのうち、6つは市外にあり、私たちの生活は市外の水源地域に支えられています。



筑後大堰

水源地域・流域の方々のおかげだね。

天候に左右されない

日本最大の海水淡水化施設

東区奈多にある「海の中道奈多海水淡水化センター(まみずピア)」は、海水から真水をつくる日本最大の施設で、福岡市にも水が送られています。

この施設では、1日最大5万m³(約25万人分)の真水をつくるができます。



海の中道奈多海水淡水化センター
事業主/福岡地区水道企業団

県内最大の貯水量 五ヶ山ダム

五ヶ山ダムの完成(令和3年1月)により、市の関連ダムで水道などに使える水の容量がこれまでの約1.7倍になりました。水の安定供給がより一層向上し、もし大渇水が起きても、市民生活等への影響を大幅に緩和できるようになりました。



県営五ヶ山ダム(平成30年3月福岡県撮影)

さまざまな水源開発をおこなってきたから、安心して水が使えるんだね。

100年の水道局の

トキトキ、初々初々

き伝えたい!



日頃から水道水をご愛飲いただいているタレントの中島浩二さんに、今年3月1日の水道100周年を機に、「福岡市水道局公式アンバサダー」に就任していただくことになりました。

— アンバサダー就任の意気込みを教えてください —

中島 今回の就任を機に、福岡市の水道について学ばせていただいています。水道水の進化や水道局の人の努力を知るとワクワクしてくるし、「これを知らないのはもったいない!もっと知りたいし、多くの人に伝えたい!」という気持ちです。水道水をいつでも飲めるのは、海外では当たり前ではない。日本では、そのありがたさが身近すぎて、多くの人が気づいていない。100年後も今のように水道を使えるかどうかは、自分たちの行動にかかっているから、「実はとてもありがたいことなんだよ」ということから伝えていきたいです。

— 6月1日は節水の日ですが、「中島浩二さん流、水をたいせつにしている行動」はありますか? —



▲FM福岡スタジオ内でのインタビュー

中島 お血洗いの時に洗い桶一つ用意するとか、洗う順番を工夫するとかで全然水の消費量が違うし、歯を磨く時も水を出しっぱなしにはしないです。これって水道だけじゃないんですね。電気とかもこまめに消すタイプですし、少し意識してもらえると、水だけでなく、いろんなことを大事にしましょう、という気持ちになってくると思います。

— ありがとうございます。これからどうぞよろしくお願いいたします —

中島 福岡市の水道のことを皆さんにたくさん知ってもらえるよう、全力で頑張ります!!



▲福岡城さくらまつりで就任式を行いました